

おおだて 文化財マップ ①

ODATE Cultural Property Map



大館 編



- 神社
- 信仰碑
- 寺
- 地蔵
- 道祖神
- 案内板
- 標柱
- 建造物
- 自然物
- 像
- 記念碑

大館市文化財マップ

私たちのふるさと「大館市」は、豊かな水と肥沃な土地に恵まれています。

東から西に流れる米代川に、北東から長木川と下内川、南からは引次川と犀川、西部では山田川と岩瀬川、早口川が合流し、その流域には水利を生かした営みの足跡がいたるところに残されています。

それらの痕跡は旧石器時代に始まり、現代に至るまで、それぞれの土地に生まれた先人たちが集落を形成し、より良い生活を求めて努力を重ね、その結果として道標、石碑、祠、記念物など、たくさんの文化遺産（文化財）が残され、大切に保護・継承されて、現在の私たちに託されています。

「大館市文化財マップ」は、市内全域を詳細に調査した文化財データの中から代表的なものを、①大館編、②比内編、③田代編として掲載しています。

この大館市文化財マップを片手に、市内の文化財を散策してみてはいかがでしょうか。
身近なところで大切に守り伝えられてきた文化財を再発見し、先人からのメッセージを感じができるかもしれません。それは同時に、自分の住む地域を見つめなおし、ふるさとに誇りを持つことにつながるのではないかでしょうか。

おじいちゃんやおばあちゃんが、先祖から受け継いだものをお孫さんに伝えるように、広い世代でこのマップをご活用いただき、文化財保護への理解と関心を深めていただければ幸いです。

■ 作成 大館市教育委員会 大館郷土博物館
■ お問い合わせ 大館郷土博物館 ☎ 0186(48)2119

大館地域



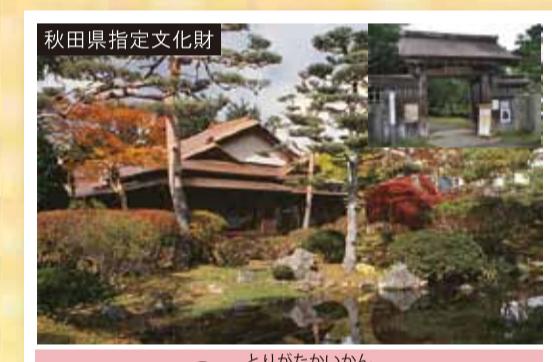
20 矢立庵寺跡

古くから後醍醐天皇の御用山廬通の古寺で、秋田市内の松原補陀寺の旧跡であると伝えられている。



23 相馬大事件之地史跡

南相馬相馬小作が津軽公爵を計画して地で待合せたが、津軽公は経費を立て難を述べたといつ。



21 鳥湯会館

江戸中期の旧家のいまを残しつつ、昭和11年の増改築で京風の意匠を取り入れられた。

昭和26年に花時町に寄贈され、現在は一般に開放されている。



20 本郷神明社 道祖神

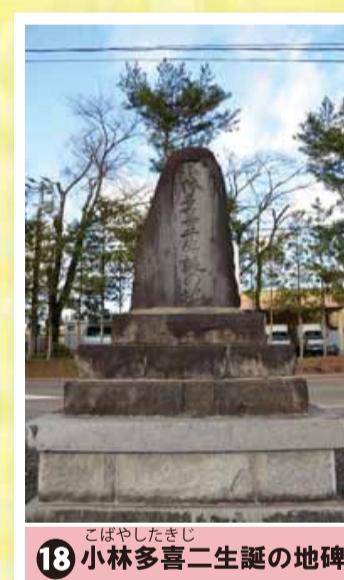
木で造られていて大館地区では最大の大きさ。

ショウキ柱と呼ばれ、魔除けの神として祀られている。



19 松峰神社

かつては奥吉松峰山という寺があったが、明治政府の神仙分離政策により神社に改修し、神社として主神を月夜見神とし、名称を松峰神社と改め現在に至っている。



18 小林多喜二生誕の地碑

日本プロレタリア作家で獄死した小林多喜二を悼んで地元の人たちにより建てられた。



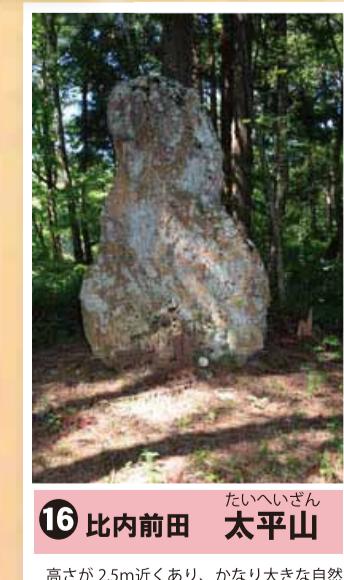
17 出川の櫛 (若木山大権現)

樹齢千年を超える、根株りが日本一大きい櫛、部落の守護神として、祭が行われている。



15 温泉寺 安藤昌益墓

江戸時代の思想家安藤昌益の墓で大館出身の村野吉吉がその思想を世にたらしめた。



16 比内前田 太平山

高さ約25mもあり、かなり大きな自然石で作られている太平山。



17 錦神社

幕末時代の浪士の人々が御の御車に包み、祝つといわれる神社。今も毎年9月3日には地元の人々が水をあげ温泉の香を想いでいる。



18 軽井沢 観音堂

軽井沢、浦山、十二所の有志が先祖供養のために開創された。



19 北鹿ハリストス正教会聖堂

明治中期に豪農の島田市之助が私財を投じて信徒と共に解教院に建立した。



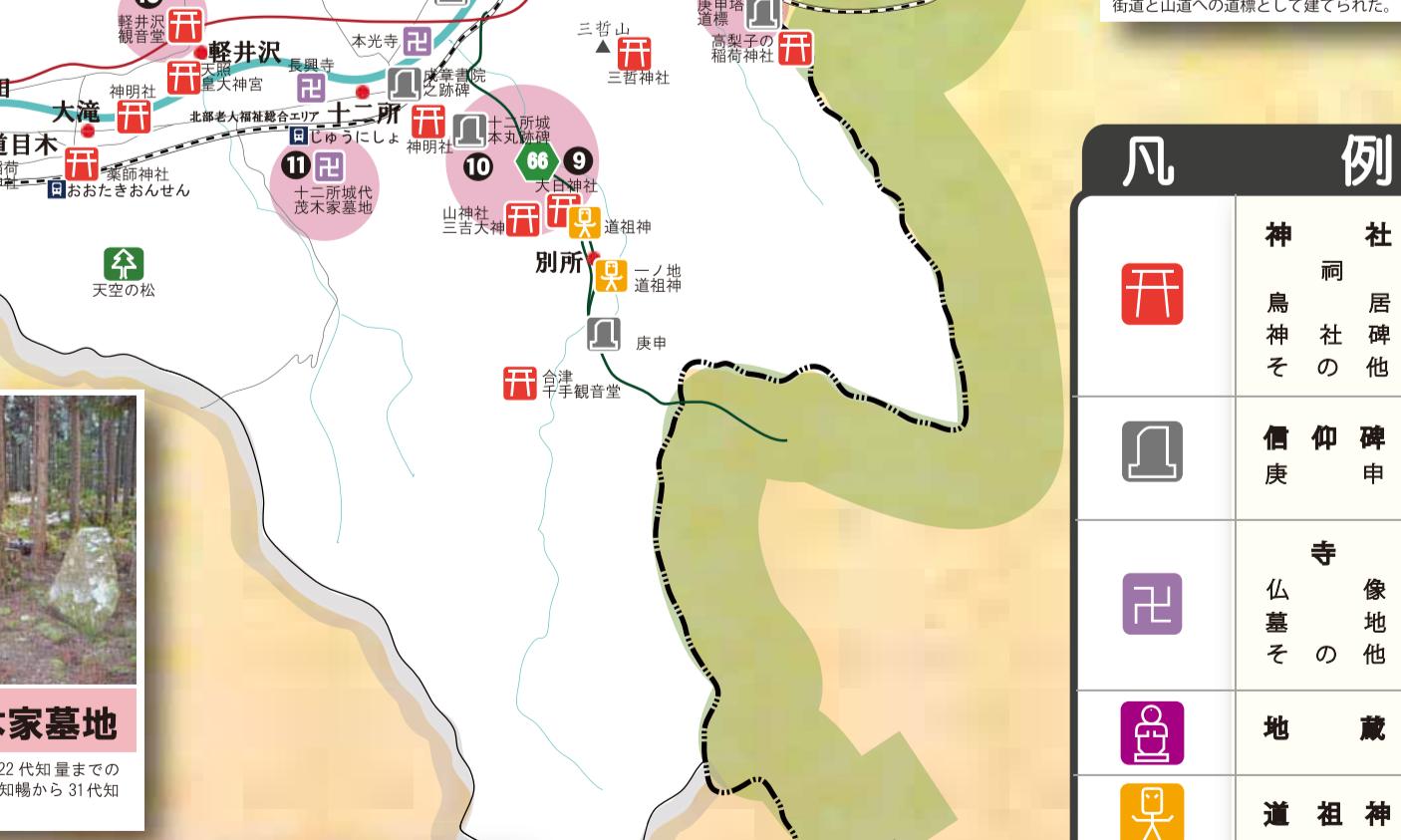
11 十二所城代茂木家墓地

茂木氏の墓地は羽後町の持続地で22代知留までの墓地であるが、この墓地は13代知留まである。



10 十二所城本丸跡碑

十二所城は元治元年(1868)十二所城代になつた御家が御庭園を築いたものです。



凡例

	神社	神を祀る
	祠	神を祀る小さな社
	居居碑	神社の門
	鳥神碑	建立記念などに建てた碑
	その他	その他に関連している文化財
	寺	仏を祀る
	像	仏を祀る
	墓	魔除け・守り神
	地蔵	魔除け・守り神
	道祖神	魔除けの神
	案内板	場所・内容を記した看板
	標柱	場所を記した柱
	建造物	文化財として価値のある建物
	自然物	貴重なため保護が必要な自然物
	像	人や動物などを模して銅で作った彫刻
	記念碑	ある事柄を記念して建てた碑

0m 500m 1000m 2000m 3000m